

## 各社の考え方

## □ 算定を行う背景・目的

- 成田国際空港では、エコ・エアポート基本計画を策定し、成田空港全体における環境対策の目標値を定めている。その目標値の一つとして、温室効果ガス排出量についても独自の算定方法により算出している。
- サプライチェーンを通じた温室効果ガス排出量算定に関する基本ガイドラインに従い算出することで、独自に実施している算定方法の妥当性を検証することを目的とした。

## 目標と実績

航空機、車両、空港施設からのCO<sub>2</sub>排出量(発着回数1回あたり)削減  
 中期目標:2010年度比3%削減  
 長期目標:2010年度比5%削減



[http://www.naa.jp/jp/issue/kankyo\\_report/pdf/kankyo\\_report2013.pdf](http://www.naa.jp/jp/issue/kankyo_report/pdf/kankyo_report2013.pdf)

## □ 算定結果の活用方法

- エコ・エアポート基本計画における温室効果ガス算定の妥当性を検証する。
- 現エコ・エアポート基本計画では算定していない項目についても算出することで、次期エコ・エアポート基本計画の目標設定時における算定方法検討の参考とする。

## □ 算定のメリット

- Scope3をカテゴリ別に分類することで、事業活動の中で、どの部分でどの程度の温室効果ガスが発生しているのかを明確にすることができ、削減対策の検討に役立った。

## □ 社内の算定体制

- エコ・エアポート推進グループが関係部署からデータを収集し、算定を行った。
- データ収集元は財務部門(カテゴリ1、6)、空港運用部門(カテゴリ3、13)、管理部門(カテゴリ7)、経営企画部門(カテゴリ9、13)、廃棄物処理事業者(カテゴリ5)である。

	各社の考え方
<p>□ サプライチェーン排出量の削減に向けて</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● エコ・エアポート基本計画(2011-2015年度)では、温室効果ガスの目標値を定め、削減努力を行っている。(詳細は環境報告書:<a href="http://www.naa.jp/jp/issue/kankyo_report/pdf/kankyo_report2013.pdf">http://www.naa.jp/jp/issue/kankyo_report/pdf/kankyo_report2013.pdf</a>)</li> <li>● ターミナルビルにおける空調設備の効率化</li> <li>● LED等高効率照明設備の導入</li> <li>● 低公害車の導入</li> <li>● 低燃費型航空機の導入促進</li> </ul>
<p>□ サプライチェーン排出量算定の課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 空港は、航空旅客の利用や航空機の離着陸に関する業務の他、店舗エリア、事務所エリア、貨物エリア等を有し、活動が多岐に渡る特殊な業種であることから、カテゴリに当てはめにくい部分があった。以下にその例を示す。             <ul style="list-style-type: none"> <li>①航空機の運航による排出についても、弊社の事業活動に伴う発生と捕らえ、カテゴリ13「リース資産(下流)」として整理した。</li> <li>②お客様の来場のための交通による排出は、カテゴリ9「輸送、配送(下流)」として算出した。</li> </ul> </li> <li>● カテゴリ1等の算出にあたり、データ収集の制約のため購入金額ベースで算出したが、物量ベースの算出結果と大きく異なる可能性がある。</li> <li>● Scope3はその性質上、Scope1,2と比較してデータ精度が低い。</li> </ul>
<p>□ これからサプライチェーン排出量を算定する方へ</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● データ収集には関係部署の理解・協力が不可欠である。</li> <li>● データの精度も重要ではあるが、毎年算出することを念頭に置き、データ収集の効率も合わせて考えることが必要である。</li> </ul>

## 3

## 成田国際空港株式会社

カテゴリ	算定方法	
	活動量	原単位
カテゴリ1「購入した製品・サービス」	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 消耗物品、販売物品の調達量</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 環境省DB 購入金額当たり原単位</li> </ul>
カテゴリ2「資本財」	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 資本財の調達金額</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 環境省DB 投資金額当たり原単位</li> </ul>
カテゴリ3「Scope1,2に含まれない燃料及びエネルギー活動」	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 電気・燃料使用量</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 環境省DB、CFP-DB エネルギー量当たり原単位</li> </ul>
カテゴリ5「事業から出る廃棄物」	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 廃棄物種類別排出量</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 環境省DB 廃棄物種類別原単位</li> </ul>
カテゴリ6「出張」	<ul style="list-style-type: none"> <li>● グループ企業の従業員数</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 環境省DB 従業員当たり原単位</li> </ul>
カテゴリ7「雇用者の通勤」	<ul style="list-style-type: none"> <li>● グループ企業の交通費支給額</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 環境省DB 交通費支給額当たり原単位</li> </ul>
カテゴリ9「輸送、配送(下流)」	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 空港利用者の来場手段</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 環境省DB 旅客人キロ当たり排出原単位</li> </ul>
カテゴリ13「リース資産(下流)」	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 航空機の機材別運航機数</li> <li>● 空港関連事業者における従業員の通勤手段</li> <li>● 空港関連事業者の燃料使用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ICAO Emissions Databank</li> <li>● 環境省DB 旅客人キロ当たり排出原単位</li> <li>● 環境省DB エネルギー量当たり原単位</li> </ul>